

JP099 セツ島 (ななつじま)

石川県：輪島市

位置	N 37° 36′ E 136° 54′
----	----------------------

面積	24ha
----	------

環境構成【島嶼／草地】

セツ島は輪島市の北方海上 20 km の地点にあり、おおむね北の島群（大島、狩又島、竜島）と南の島群（荒三子島、烏帽子島、御厨島、赤島）に分れている。いずれの島も火成岩からできており、その大部分が安山岩で、一部は凝灰角礫岩である。

最大の島は大島で周囲約 1 km、面積は 12.6ha、海拔約 62m で島の中央に無人灯台が設置されている。他の 6 島は面積も狭く、海面からほぼ垂直に 40m ほどの崖となっており容易に人を近づけない。

狩又島以外の島は標高 20m 以上が草地となっており、ススキ、ハマウド、イタドリ、ノアザミ、ノイバラがみられる。

1970 年代まで大島、荒三子島、御厨島には漁期の夏場に漁民が生活していたが、現在はすべて無人島である。



写真：岡望

選定理由

A1	カンムリウミスズメ
----	-----------

保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

国指定鳥獣保護区（セツ島）、国定公園（能登半島国定公園）、自然環境保全地域

保全への脅威

- ・外来種（カイウサギ）の侵入
- ・ドブネズミの増加

保全活動

- ・外来種のコントロール：実施者（環境省）

内容：外来生物の捕獲・排除など

・モニタリング調査

七ツ島におけるカンムリウミスズメ調査（平成 15 年、環境省）

保護調査活動（日本野鳥の会石川）

見られる鳥

留鳥	ウミウ、クロサギ、ハヤブサ、ウミネコ、ハクセキレイ、イソヒヨドリ、ハシブトガラス
夏鳥	オオミズナギドリ、ヒメクロウミツバメ、カンムリウミスズメ、アマツバメ
冬鳥	ヒメウ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、ワシカモメ、シロカモメ、ミツユビカモメ、マダラウミスズメ、ウミスズメ、ウトウ
旅鳥	オオハム、シロエリオオハム、アカエリカイツブリ、アカアシミズナギドリ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、ノスリ、サシバ、チゴハヤブサ、バン、ツルクイナ、ムナグロ、アカエリヒレアシシギ、ツツドリ、トラフズク、タヒバリ、サンショウクイ、カラアカハラ、クロツグミ、アカハラ、ミヤマホオジロ、シマアオジなど
迷鳥	ウミオウム、ワキアカツグミ

*七ツ島の周辺海域は、マリーン IBA（Marine Important Bird and Biodiversity Areas：海鳥の重要生息地）に選定されている

詳しくはこちら <http://www.wbsj.org/activity/conservation/habitat-conservation/miba/>

関連団体・自治体・施設等

・日本野鳥の会石川



竜島
Tatsujima Is.

大島
Oshima Is.

赤島
Akajima Is.

七ツ島
Nanatsu-shima Is.

荒三ツ島
Aramitsu-jima Is.

御厨島
Mikurage-jima Is.

烏帽子島
Eboshijima Is.



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeBCo, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community